

## 第三セクター等経営健全化方針

この方針は、相当程度の財政的なリスクが存在する第三セクター等と関係を有する地方公共団体が、当該第三セクター等の抜本的改革を含む経営健全化のための方針を定めるものである。

### 1. 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和3年9月10日

作成担当部署 長野県木島平村 産業課 商工観光係

### 2. 第三セクター等の概要

法人名 木島平観光株式会社

代表者名 代表取締役 社長 日基 正博

所在地 木島平村大字上木島3878番地2

設立年月日 平成5年4月1日

資本金 64,800千円【当該地方公共団体の出資額(出資割合) 52,550千円(81.1%)】

業務内容 スポーツ施設、食堂、売店の建設、管理運営、経営に関する事業ほか

### 3. 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

木島平観光株式会社は、増加する観光需要に機動的に対応できる組織として、平成5年4月に第三セクターとして設立し、木島平スキー場、馬曲温泉、やまびこの丘公園等の管理運営を行ってきました。平成10年にはパノラマランド木島平の管理運営を行うため、株式会社フェローズイン木島平を設立し営業を行ってきました。その後平成20年5月「木島平観光株式会社と株式会社フェローズイン木島平の2社を合併し新たに「木島平観光株式会社」としてスタートしました。

しかしながら、令和元年10月の台風19号、令和2年の記録的な寡雪、そして今なお猛威をふるう新型コロナウイルス感染拡大により、客足が激減し、観光業は全国的に大打撃を受けました。その余波は木島平観光株式会社にも影を落とし、令和元年度(第28期)決算では、施設ごとに軒並み赤字となり、総額96,000千円の赤字を計上することとなりました。このことを踏まえ、令和2年12月に今後10か年の事業計画である「木島平観光株式会社新経営改革プラン」が策定され、経営健全化の方向性が示されました。

これまでに、本村は長期貸付金として平成28年4月に40,000千円、令和2年1月に30,000千円、同年4月に10,000千円の計80,000千円を木島平観光株式会社に貸付し、運営をサポートしてまいりました。また、木島平観光株式会社が借り入れる資金に対する損失補償として毎年100,000千円の債務負担行為をしている状況です。

### 4. 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

本村の基幹産業のひとつである観光業の中心施設である、木島平スキー場、馬曲温泉、パノラマランド木島平などを運営している木島平観光株式会社は、本村にとって必要不可欠な組織であります。

そのため、10 年間の事業計画に基づき経営改善に努め、将来にわたり安定した黒字経営、持続可能な会社経営を求めてまいります。

#### 5. 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

本村では、財政的なリスクの解消と木島平観光株式会社の経営健全化、貸付金の計画的な償還に向け、令和 12 年を目標年次とする 10 年間の事業計画に基づいた数値目標を基に経営状況を見極め、10 年間の事業計画を毎年検証します。検証結果は、木島平観光株式会社と村とで情報を共有し、次年の事業計画に反映するなど、目標年次の数値目標達成を目指し、より健全な経営に努めるよう促してまいります。これにより、令和 2 年 6 月～令和 3 年 5 月（第 29 期）に財政的リスクを解消することは難しいものの、令和 3 年 5 月～令和 4 年 5 月（第 30 期）以降は経常利益が黒字化となる見込みとなっております。

#### 6. 法人の財務状況

	項目	金額（千円）		
		平成 30 年	令和元年	令和 2 年
貸借対照表から	資産総額	191,297	158,631	143,394
	（うち現預金）	95,466	74,975	93,442
	（うち売上債権）	14,961	4,803	8,104
	（うち棚卸資産）	4,238	4,335	2,573
	負債総額	105,621	169,567	165,993
	（うち木島平村からの借入金）	40,000	80,000	80,000
	純資産額	85,676	△10,936	△22,599

	項目	金額（千円）		
		平成 30 年	令和元年	令和 2 年
損益計算書から	経常収益	410,353	284,663	265,163
	経常費用	420,637	385,622	315,148
	経常損益	△7,894	△95,903	△9,781
	経常外損益	△182	△708	△1,881
	当期純損益	△8,076	△96,611	△11,662